

第18回

# キーボード・アンサンブル ～楽しく演奏（2）～

学習のねらい

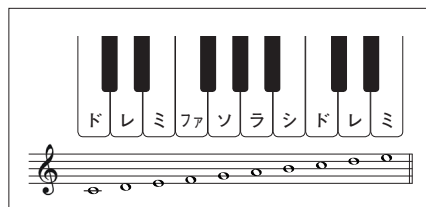
身近にある楽器の1つである電子キーボードを中心に取り上げていきます。電子キーボードは、ピアノ以外のたくさんの音色が使用できたり、リズム伴奏やコードを自動演奏で加えられたり、音を記憶させたりして一人でもアンサンブル演奏を楽しむことができます。ぜひみなさんにも挑戦してほしい楽器の1つです。



講師  
末石忠史

## 鍵盤楽器の基礎的な奏法を身につける

ここでは、初めてキーボードに触れるときに必要な基礎的な演奏方法について学んでいきます。まず基準となる「ド」の音の位置を確認しましょう。キーボードには黒鍵が2本まとまっている場所と、3本まとまっている場所がありますが、その2本のまとまっている黒鍵のすぐ左の白鍵が「ド」です。ただし、演奏するときには同じ「ド」の音でも、楽譜に書かれている音が、どの高さを示しているのか確認してから演奏しましょう。



次に指番号です。右手、左手ともに、親指が「1番」、人差し指が「2番」、中指が「3番」、薬指が「4番」、小指が「5番」になります。指番号は楽譜によってはまったく書かれていないものもありますので、そういった場合には、自分で一番スムーズな指の運び方を探し、楽譜に書き留めておきましょう。毎回、同じ指使いで練習する方が上達も早くなります。

## コードネームのしくみを知り、生かした演奏をできるようにする

コードネームは楽譜に書かれているアルファベットの記号で、そこでどんな和音を弾けばよいのかを省略した形で表わしています。つまり、歌の旋律だけしか書いていない楽譜でも、コードネームがあれば、伴奏としてどんな和音を弾けばよいのかがわかるしくみです。

コードネームの表記には英語が使われていて、その和音のベース、つまり一番下の音にくる音が「ドレミファソラシド」に対応する「C D E F G A B」と表記されます。

特に断りがない場合は、そのアルファベット表記がそのまま「明るい感じ」の和音であるメ

ジャー・コード(長三和音)で演奏することを意味しています。

また、「暗い感じ」のするマイナー・コード(短三和音)の場合はアルファベット大文字の横に「m」を表記することになっていますので、区別をつけることができます。

コードネームで示された和音を、どんな高さで、どんな形で弾くのかは、演奏者の自由です。演奏するときは、自分のイメージにあった伴奏を工夫することができます。このようにコードネームは大変に便利なシステムですからぜひ、覚えてください。

## 自分の役割を意識して、キーボードアンサンブルをつくる

番組では、電子キーボードのいろいろな機能を組み合わせたアンサンブルの演奏を聴いてみましょう。

パターン1：旋律とコード

パターン2：旋律とコード、打楽器のリズム

パターン3：旋律とコード(自動のコード伴奏を含む)、ベース、打楽器のリズム

パターンごとに音楽がどのように変化しているか聴き比べ、それぞれの演奏の特徴を感じ取ってください。特徴をつかむことで、どんな音楽のしぐみを演奏に取り入れると、自分のイメージにあったアンサンブルに近づけるのか理解することができると思います。

今回の番組で紹介した電子キーボード(鍵盤楽器)の演奏方法や機能はごく一部です。キーボードの演奏に興味をもって、もっと奥深い音楽の世界に飛び込んでみてください。

### 楽曲豆知識

コードネームには長三和音を表すメジャー・コード、短三和音を表すマイナー・コード以外にも、減三和音を表すディミニッシュ・コード(dim)、増三和音を表すオーグメント・コード(aug)があります。また、三和音以外の和音は付加されたアルファベットや数字によって表わされます。(例：C7、Csus4、C/Fなど)

コードネームは調によって影響されることなく和音が表示することができますので、とても便利な記号です。コードネームのしぐみを知ってポピュラー音楽を始め、いろいろな音楽に挑戦してみてください。

### ♪ 今回取り上げる曲 ♪♪♪

- 「メリーさんのひつじ」 : 作詞 高田三九三 作曲者不明
- 「グリーン・スリープス」 : イングランド民謡 編曲 佐藤麻耶